

取扱説明書

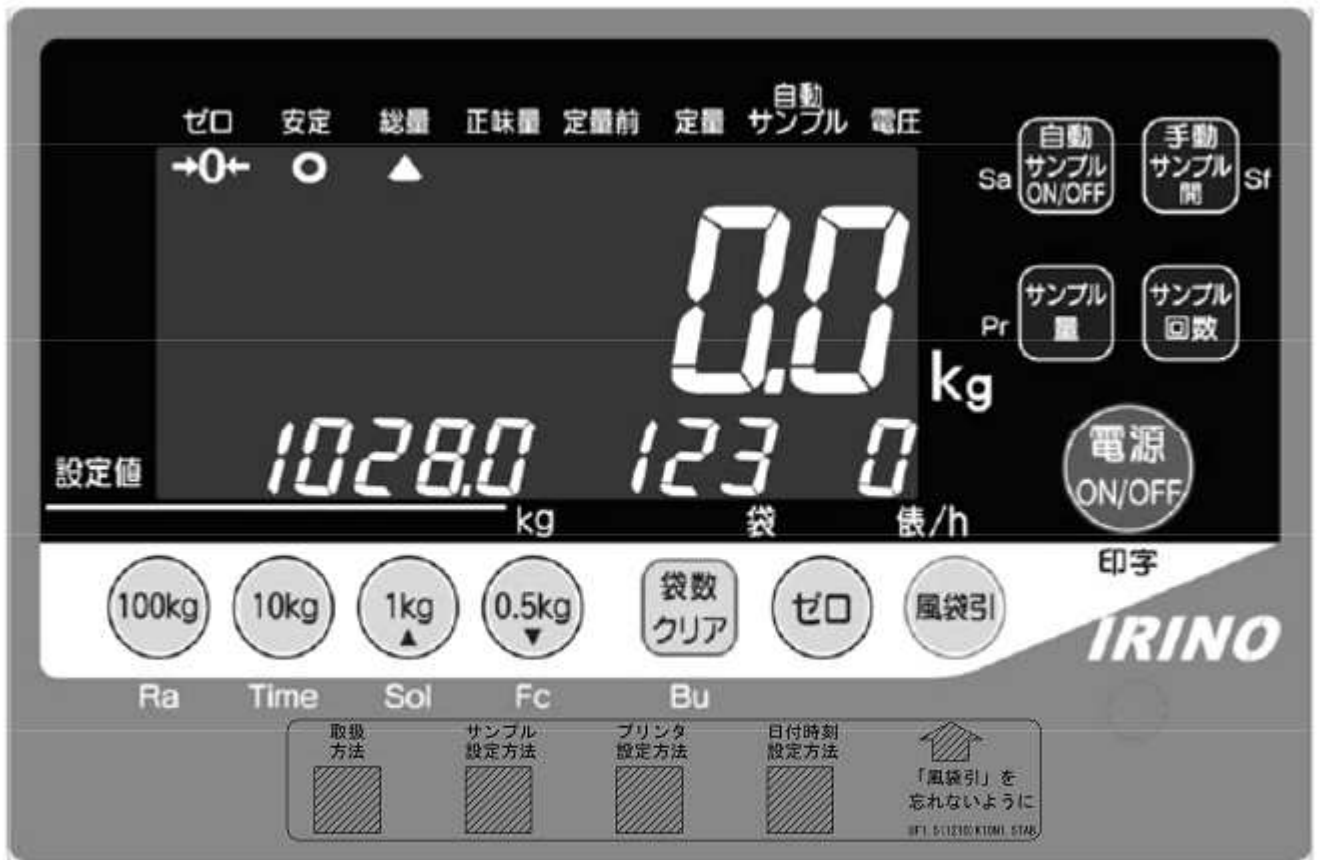
IRINO

301790

FBH-604GKU

自動シャッター一部
K10N1.5

29G066A



* 指示計に二次元バーコードシールを貼り付けてください

取扱方法 	サンプル設定方法 	プリンタ設定方法 	日付時刻設定方法 	 「風袋引」を忘れないように UF1.5(1210)K10N1.5TAB
---	---	---	--	---

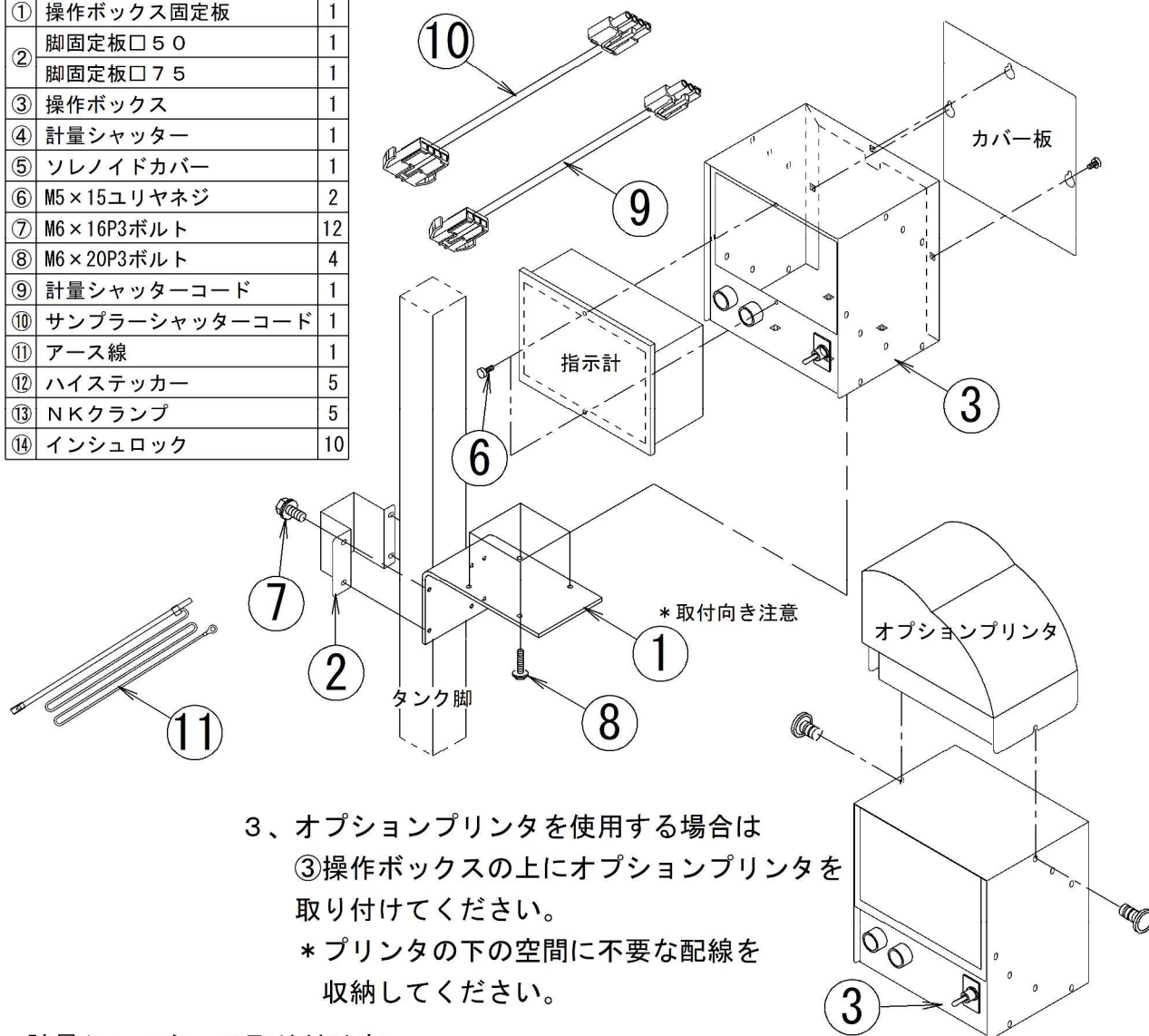
操作ボックス取付方法

K10N1.5

操作ボックスの取り付け方

- 1、指示計と③操作ボックスを⑥を使用して取り付けてください。
- 2、タンク脚に①操作ボックス固定板と②脚固定板を⑦を使用して固定してください。
*配線をする時は操作ボックス背面のカバー板を取り外してください。

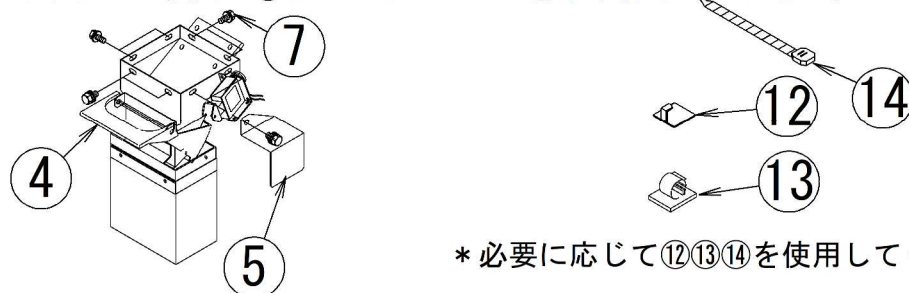
①	操作ボックス固定板	1
	脚固定板□50	1
②	脚固定板□75	1
③	操作ボックス	1
④	計量シャッター	1
⑤	ソレノイドカバー	1
⑥	M5×15ユリヤネジ	2
⑦	M6×16P3ボルト	12
⑧	M6×20P3ボルト	4
⑨	計量シャッターコード	1
⑩	サンプラーシャッターコード	1
⑪	アース線	1
⑫	ハイステッカー	5
⑬	NKクランプ	5
⑭	インシュロック	10



- 3、オプションプリンタを使用する場合は
③操作ボックスの上にオプションプリンタを取り付けてください。
*プリンタの下の空間に不要な配線を収納してください。

計量シャッターの取り付け方

- 1、④計量シャッターをタンクジョーゴ出口部分に⑦を使用して取り付けてください。
*④計量シャッターの横面に⑤ソレノイドカバーを取り付けてください。



*必要に応じて⑫⑬⑭を使用してください。

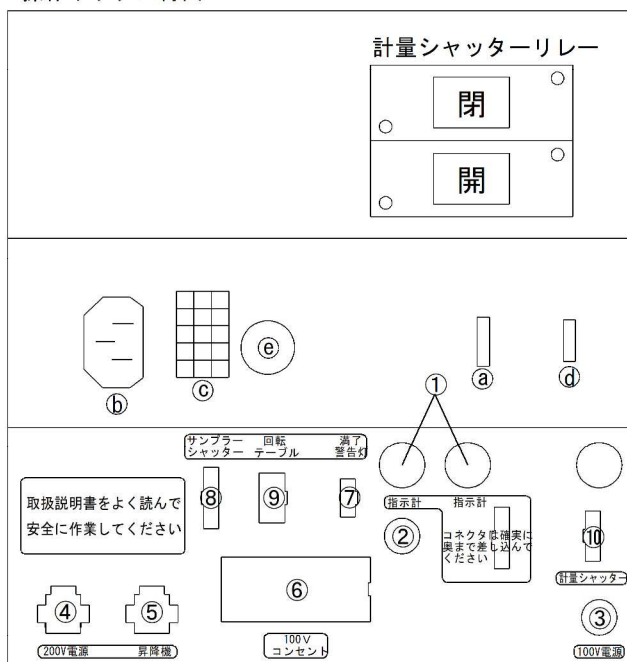
操作ボックス配線方法

K10N1.5

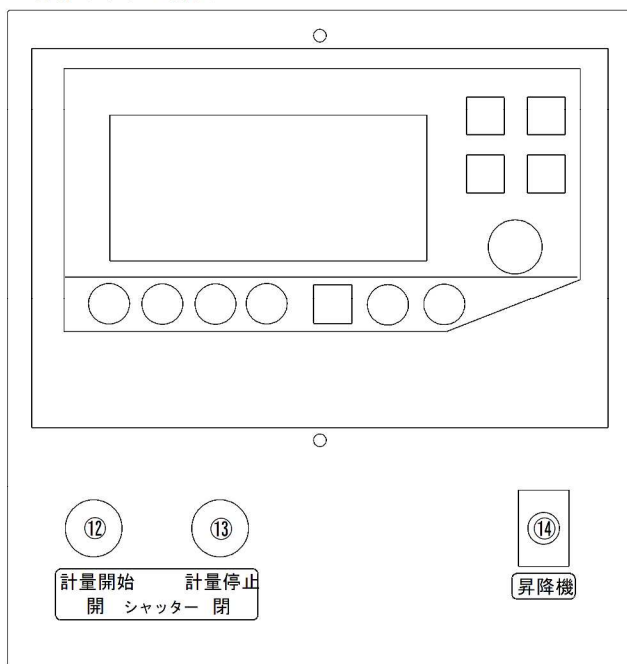
配線方法と各部の名称

1、操作ボックス背面のカバー板を取り外して配線を行ってください。

操作ボックス背面



操作ボックス前面

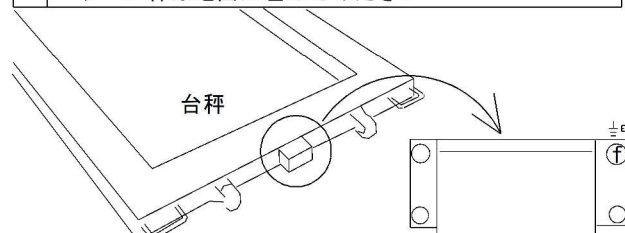


①	ロードセルコネクタ 台秤の配線(ロードセルケーブル)を接続してください
②	電源ソケット ②の指示計電源コードを接続してください
③	外部コネクタ ①の指示計コードを接続してください
④	プリンタコネクタ オプションプリンタコードを接続してください
⑤	指示計アース端子 操作ボックスのアース線を接続してください

①	指示計コード 指示計の外部コネクタ ③ に接続してください
②	指示計電源コード 指示計の電源ソケット ② に接続してください
③	100V電源コード 100V電源を供給してください
④	200V電源コネクタ オプション200V電源コードを接続してください
⑤	昇降機コネクタ オプション昇降機コードを接続してください
⑥	100Vコンセント オプション製品の100V電源として利用してください
⑦	満了警告灯コネクタ オプション満了警告灯コードを接続してください
⑧	サンプラーシャッターコネクタ オプションサンプラーシャッターコードを接続してください
⑨	回転テーブルコネクタ オプション回転テーブルコードを接続してください
⑩	計量シャッターコネクタ 計量シャッターコードを接続してください

⑫	緑ボタン 計量シャッターが開き、計量を開始します
⑬	赤ボタン 計量シャッターが閉じ、計量を停止します
⑭	昇降機OnOffスイッチ 昇降機のオン/オフを行います

①	台秤アース端子 アース線を接続してください アース棒は地面に埋めてください
---	---





計量の仕方

- ① **電源 ON/OFF** キーを押して指示計を表示させます。
- ② 下記の作業順序に注意してください

<p>風袋重量を含む場合</p> <p>↓</p> <p>台秤にパレットを載せる</p> <p>↓</p> <p>風袋引 キーを押す</p> <p>↓</p> <p>フレコンバッグを取り付ける</p>	<p>風袋重量を含まない場合</p> <p>↓</p> <p>台秤にパレットを載せる</p> <p>↓</p> <p>フレコンバッグを取り付ける</p> <p>↓</p> <p>風袋引 キーを押す</p>
---	---
- ③ 「計量開始」 ボタンを押すとシャッターが開き計量が始まります
* 計量を一時停止する場合は「計量停止」 ボタンを押してください
- ④ 定量前になると小投入になります
- ⑤ 定量になると自動でシャッターが閉じ計量が完了します
- ⑥ フレコンホルダーから吊り下げ金具を全て外してください
- ⑦ パレットごとフレコンバッグを取り出してください

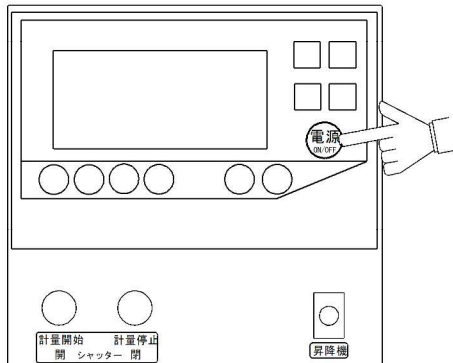
ブザー音量変更方法

- ① 指示計表示がOFFの状態
 - ② **袋数クリア** キーを長押し → **bu** と表示される
 - ③ **1kg** キーを押して設定値 → 0 → 1 → 2 → 3 → を変更
 - ④ 設定終了後 **電源 ON/OFF** キーを長押し → 電源がOFFになり設定完了
- | | |
|-------|--------------|
| 正量 | ピッピッピッ (断続音) |
| 過量、不足 | ピー———— (連続音) |
- | |
|--------|
| ブザー音 |
| 0 : なし |
| 1 : 小 |
| 2 : 中 |
| 3 : 大 |

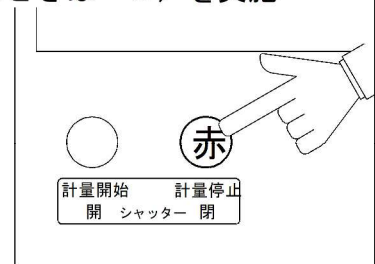
計量方法

K10N1.5

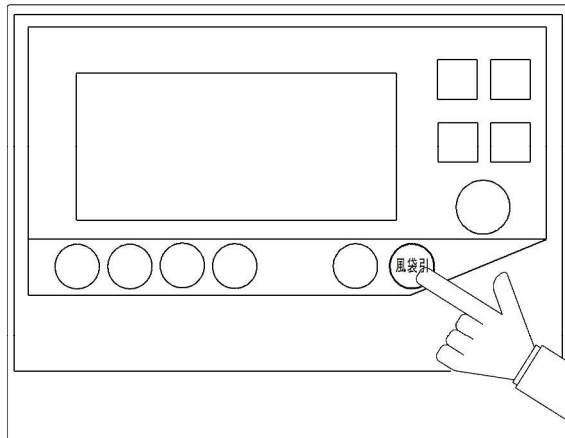
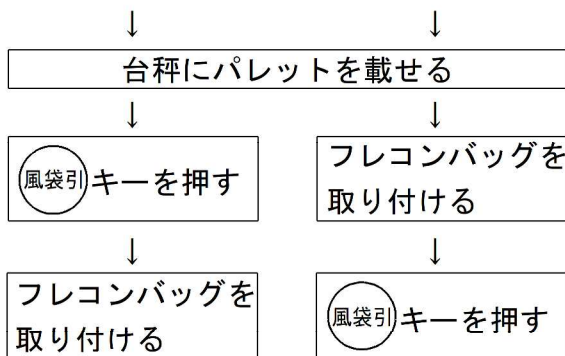
- 1) 指示計の電源をオンにしてください。
→指示計が表示します。



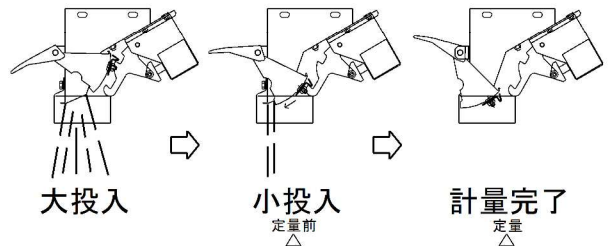
- 4) 計量を途中で一時停止させたい場合は赤ボタンを押してください。
→シャッターが閉じ、計量が停止します。
計量を再開するときは 3) を実施してください。



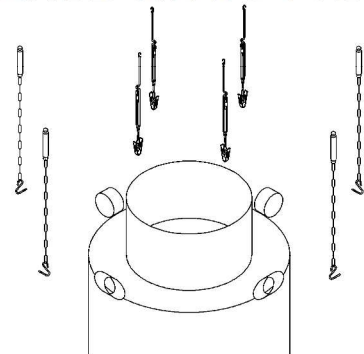
- 2) 下記の作業順序に注意してください。
風袋重量を含む場合 風袋重量を含まない場合



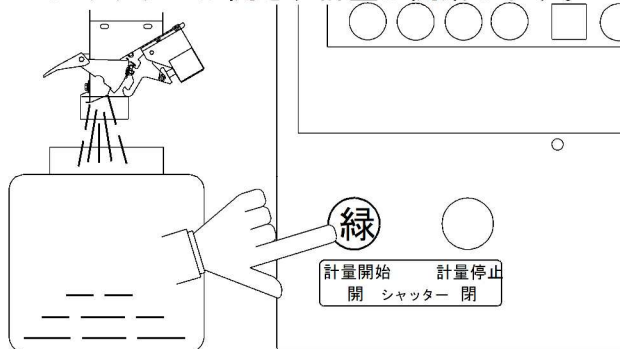
- 5) 定量の数キロ前でシャッターが大投入から小投入に切り替わります。
6) 定量になったら自動でシャッターが閉じ計量が完了します。



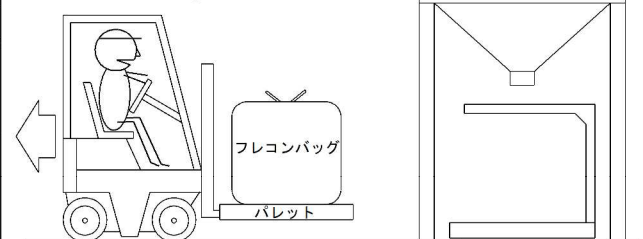
- 7) フレコンバッグホルダーからフレコンバッグの吊り下げ金具を全て取り外してください。



- 3) 操作ボックスの緑ボタンを押してください。
→シャッターが開き、計量が開始します。



- 8) パレットごとフレコンバッグを取り出して




- 9) 再度計量を行う場合は 2) から作業を繰り返してください。

自動サンプラー機能を使用する場合

UF1.5(1210)K10N1.5TAB


*最初に必ず設定値の変更を行ってください
(工場出荷時は「0」に設定されています)

①指示計表示がOFFの状態

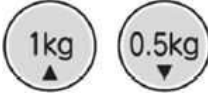


0 : 自動サンプルなし
1 : 自動サンプルあり



② **Sa** 自動 サンプル ON/OFF キーを長押し




③ **1kg** **0.5kg** キーを押し設定値を「0」→「1」に変更





④ **電源** ON/OFF キーを長押し→電源がOFFになり設定完了

サンプル基本設定



自動 サンプル ON/OFF 長押しで自動サンプルの「有効」「無効」を切り替えます

有効  無効 

手動 サンプル 開 押ししてる間、サンプルシャッターが開きサンプル米が抽出されます

サンプル 量 キーを押すとサンプル量を設定します 初期値 : 5.0秒 設定範囲 : 0秒~10秒

1kg サンプル量が増加します **0.5kg** サンプル量が減少します

設定後数秒放置すると入力値が確定します

サンプル 回数 キーを押すとサンプル回数を設定します 初期値 : 5回 設定範囲 : 0回~10回

1kg サンプル回数が増加します **0.5kg** サンプル回数が減少します

設定後数秒放置すると入力値が確定します

サンプルパラメーター設定

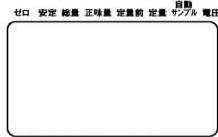
パラメーター内容

2 3 2 : サンプル開始重量 初期値 : 1 0 %

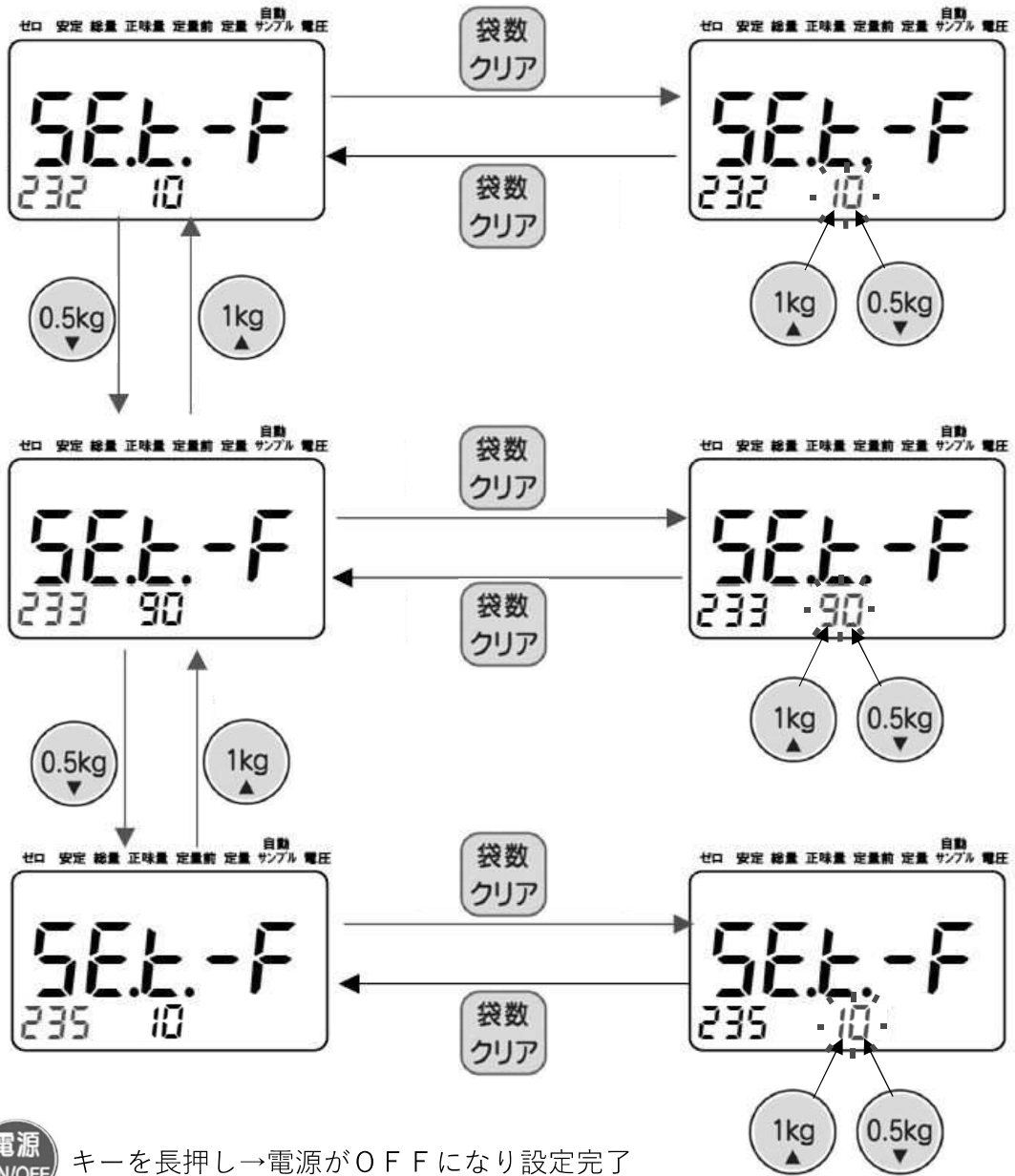
2 3 3 : サンプル終了重量 初期値 : 9 0 %


2 3 5 : サンプル取り出し口まで米を貯める時間 初期値 : 1 0 秒

① 指示計表示がOFFの状態



②  キーを長押し



③  キーを長押し → 電源がOFFになり設定完了

全自動サンプラー操作方法

K10N1.5

サンプル米取り出し作業例 定量(出荷重量)・・・1000Kg

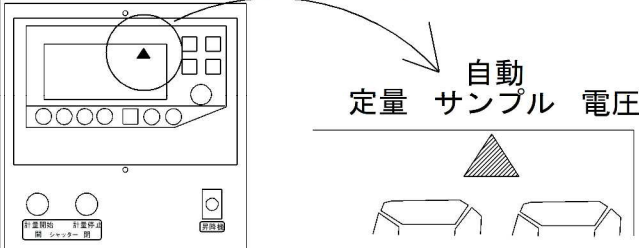
- a) サンプル回数・・・5回
 - b) サンプル開始重量・・・10% (100kg)
 - c) サンプル終了重量・・・90% (900kg)
 - d) 本体シャッター閉時間・・・10秒 →サンプル取り出し口まで米を貯める時間
- } 定量に対するパーセントで入力します

計量完了	1000kg	100%	定量
5回目サンプル取り	900kg	90%	c) サンプル終了重量
4回目サンプル取り	700kg	70%	a) b) c) を設定すれば 自動設定されます (均等割り付け)
3回目サンプル取り	500kg	50%	
2回目サンプル取り	300kg	30%	
1回目サンプル取り	100kg	10%	b) サンプル開始重量
計量開始	0kg	0%	

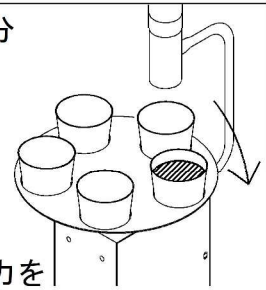
a) サンプル回数

全自動サンプラー操作方法 (設定はP5, 6を参照してください)

1) 指示計の自動サンプルマークが点灯している時自動サンプルが作動します。

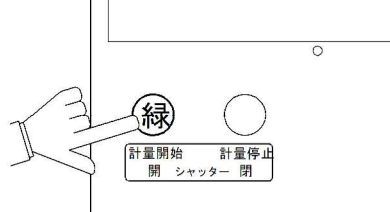


5) 回転テーブルが1カップ分自動回転します。

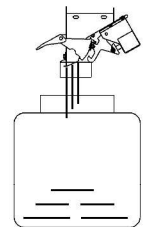


→回転テーブル作動中はサンプル受け板に無理な力を加えないようにしてください。

2) 操作ボックスの緑ボタン(計量開始)を押してください。
→シャッターが開き計量が始まります。

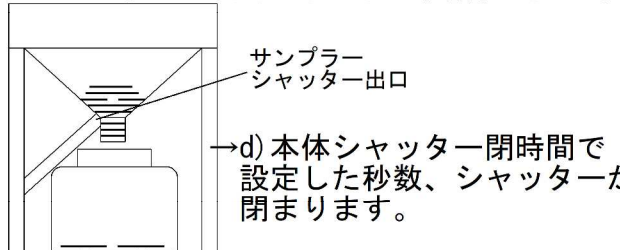


6) 計量が再開されます。



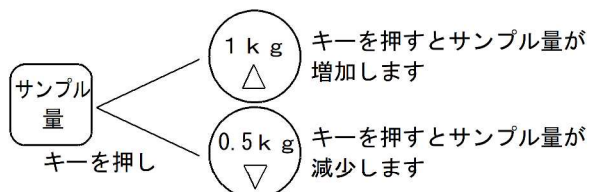
→サンプル取りの重量になると3)から自動繰り返しで設定回数作業が行われます。

3) サンプル取りの重量になると計量を一旦停止します。
→サンプラーシャッター出口まで米を貯めるため。

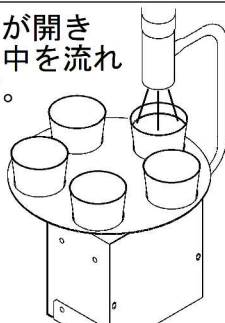


→d) 本体シャッター閉時間で設定した秒数、シャッターが閉まります。

* カップに貯まるサンプル米の量は「サンプル量」キーを使用してください。



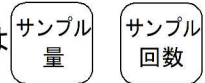
4) サンプラーシャッターが開きサンプル米がホースの中を流れカップに流れてきます。



* 手動でサンプル米を取り出したい時は指示計の「手動サンプル開」キーを押している間サンプルシャッターが開きサンプル米を抽出できます。



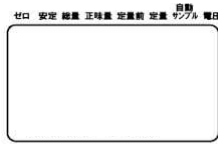
→手動の場合は回転テーブルは作動(回転)しません。



* 日付、時刻の設定はプリンタ機能を使用するときが必要です

例：2023年11月29日 11:30の場合

① 指示計表示がOFFの状態

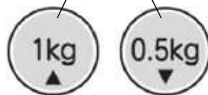


② 10kg キーを長押し



Time

③ 年の設定をします

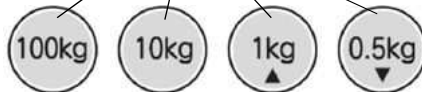
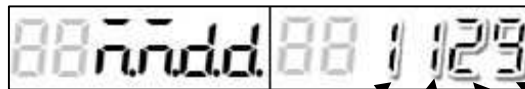


キーを押す

→ 袋数クリア キーを押す



④ 月日の設定をします

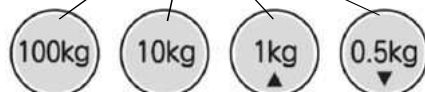
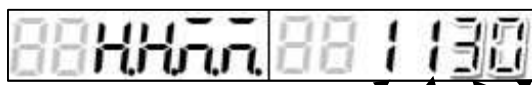


キーを押す

→ 袋数クリア キーを押す



⑤ 時刻の設定をします



キーを押す

→ 袋数クリア キーを押す



⑥ 電源 ON/OFF キーを長押し → 電源がOFFになり設定完了



* **r.t.c.** エラーが出たら指示計内部のボタン電池の交換が必要です
ボタン電池交換後、日時設定を行い再起動してください

使用ボタン電池(CR2032)

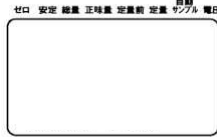
プリンタ機能を使用する場合

UF1.5(1210)K10N1.5TAB

*最初に必ず設定値の変更を行ってください

(工場出荷時は「0」に設定されています)

①指示計表示がOFFの状態




0 : プリンタ機能なし
1 : 手動印字


②  キーを長押し



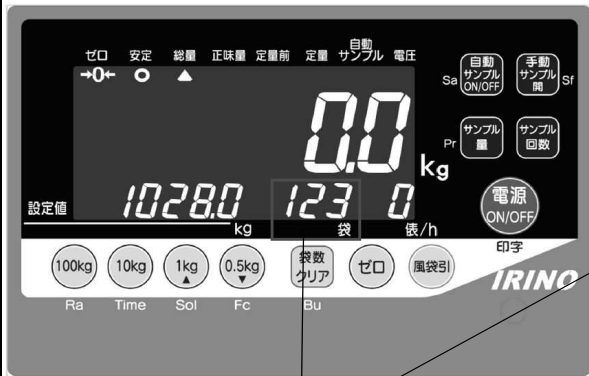
③   キーを押し設定値を「0」→「1」に変更

④  キーを長押し→電源がOFFになり設定完了


使用方法

 キーを押すとプリンタが作動しその時の重量値を印字します

定量になって計量が完了したら  キーを押して印字してください



袋数が印字されます

 キーを長押しすると「0」になります

G : 総量
N : 正味量

```
=====
2021/12/31
時刻 番号 正味量 (風袋量) 判定
(kg) (kg)
12:31 123 1030.5 N 5.5 正量
=====
```

```
=====
2021/12/31
時刻 番号 正味量 (風袋量) 判定
(kg) (kg)
12:31 124 1035.5 N 5.5 過量
=====
```

```
=====
2021/12/31
時刻 番号 正味量 (風袋量) 判定
(kg) (kg)
12:31 125 1029.5 N 5.5 不足
=====
```

